

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 6 年3月定例会	
議案番号 議案名	<p>議案第 64 号 令和6年度松戸市一般会計予算 議案第 65 号 令和6年度松戸市国民健康保険特別会計予算 議案第 66 号 令和6年度松戸市松戸競輪特別会計予算 議案第 69 号 令和6年度松戸市介護保険特別会計予算 議案第 70 号 令和6年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算 議案第 71 号 令和6年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算 議案第 72 号 令和6年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計予算 議案第 74 号 令和6年度松戸市病院事業会計予算</p>
議員名・会派名等	伊東英一 公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>以下の討論をもって、態度決定に至った理由といたします。</p> <p>会派を代表いたしまして、本定例会に上程されております「議案第 64 号 令和 6 年度松戸市一般会計予算」並びに「議案第 66 号から第 72 号までの特別会計予算」「議案第 73 号から第 75 号までの事業会計予算」につきまして、賛成の立場から討論いたします。</p> <p>本予算の審査に当たっては、代表質問でも申し上げた通り、</p> <p>①「すべての子供の育ちを支える支援に全力で取り組んでいるのか」 ②「誰一人取り残さない包摂社会の実現に向けた地域づくりを目指しているか」 ③「地方税収入増加に向けた魅力的な街づくりとなっているか」 ④「防災対策の強化が図られているか」</p> <p>に重点をおいて審査し質疑させていただきました。</p> <p>はじめに「すべての子供の育ちを支える支援に全力で取り組んでいるのか」についてですが、私たち公明党では「子育て応援トータルプラン」を作成し、「こどもの幸せを最優先する社会」を目指して、結婚、妊娠・出産からこどもが社会に巣立つまで、ライフステージに応じた切れ目のない政策、の推進をしています。</p> <p>2023 年 12 月 22 日に政府が発表した「子ども未来戦略」においても、全てのこども・子育て世帯を切れ目なく支援することがうたわれました。これにより児童手当の支給対象が 2024 年秋より大幅に拡大されます。</p> <p>これまで松戸市においても子育て支援策を進めていただいております、子供医療費の対象年齢拡大、国に先駆けて一時預かり制度の創設、地方創生臨時交付金を活用して、物価高騰対策としての給食費の材</p>

料費高騰分の抑制や、今年 1 月から 3 月までの給食費無償化などを
実現していただきました。

令和 6 年度においても、一時預かり事業で対象年齢の引き下げをす
るとともに、産後のグリーンケアなど妊産婦への支援充実が図られて
おり、評価するものです。

さらに昨年 11 月に設置した「いじめ相談窓口」の運用やヤングケア
ラーへのきめ細やかな対応策を進める施策も盛り込まれています。
学校施設関係では、長寿命化に向けての取り組みが始まり、小中学校
の学校体育館には、私たちが提案した「緊急防災・減災対策債」を活用
して空調設備の設置に向けての設計費用が生まれ、学校の夜間照明
の設置についてもモデルケースとして 1 校実施していくことが示さ
れました。

そして小中学校での学校給食費では第 2 子半額、第 3 子以降無料と
の保護者負担軽減策が新たに示されたところです。

これらの施策を大いに評価するものです。

続いて「誰一人取り残さない包摂社会の実現に向けた地域づくりを
目指しているか」については、昨年 11 月、公明党の「地域共生社会を
支える高齢者活躍推進プロジェクトチーム」が自治体における相談・
支援体制の整備、地域共生社会を支える人材育成の仕組み構築、企
業の取り組み促進、などの内容を取りまとめ、国に報告しています。
松戸市においても国に先駆けて重層的支援体制を進めており、平成
30 年には福祉まるごと相談窓口が設置され、80-50 問題など、高
齢化社会における新たな課題解決に向けて、力を注いできました。そ
して高齢者のフレイル予防にも取り組んできたところです。

令和 6 年度でも重層的支援体制のさらなる拡充が図られるととも
に、これまで松戸市で維持してきた体制を活用して国の交付金の対
象となるようご努力されていることが示されました。

さらに、書かない窓口システムの導入や、町会・自治会での電子回覧
板の導入など利便性の向上や従事される方の負担軽減策を打ち出し
ました。

高齢者の移動支援の一環としては松戸駅周辺で自動運転レベル 2 の
実証実験を予定しており、高齢者への支援が一步前進することが期
待されます。

さらに、带状疱疹ワクチンの費用助成についても新規事業として取り
組まれることとなりました。

これらを大いに評価するものです。期待しております。

次に「地方税収入増加に向けた魅力的な街づくりとなっているか」に
ついてですが、

松戸市は、松戸駅周辺は商業・業務面における活力が薄れつつあ
り、より良い市街地環境の再構築が必要ある。公共施設についても老
朽化が進んでいることから、この対応が求められている。としていま

す。

このことから「松戸駅周辺まちづくり基本構想」では、松戸駅周辺でありながら松戸中央公園などの豊かな緑に恵まれ、官舎跡地などの有効活用が求められる相模台地区を、新たな松戸の顔となる便利で魅力あふれる「新拠点ゾーン」として位置付けました。

これらを実現していくためにはまだまだ時間が掛かってしまいますが、現時点でできる「にぎわいの創出」として、昨年引き続き松戸駅周辺での様々なイベントや花火大会の実施、JR 東日本が施工している松戸駅改良に合わせて東西デッキでの各種準備工事などが予算化されており、期待するものです。

そして、新拠点ゾーン南側の国有地を市役所予定地として購入するための費用など、現在できうることの経費や今後の街づくりのための予算が計上されました。

現在の経済情勢を鑑みると、物価高騰が続いていることから、これらの事業計画が一年遅れれば、その分の整備費用、建設費用が高騰し、さらなる財政負担が発生してしまうことは明らかです。

計画に遅れが生じることのないよう、一步一步着実に進めていかなければなりません。松戸の未来・松戸の将来を決める大事な、大事な、事業ですので、よろしくお願いいたします。

「防災対策の強化が図られているか」について、公明党では 2022 年より「新たな防災・減災・復興政策検討委員会」を立ち上げ、防災・減災、国土強靱化に関する議論を深めてきました。そして、2022 年 11 月には自民、公明の与党両党で防災・減災、国土強靱化推進プロジェクトチームを立ち上げ、翌年 2023 年 6 月 14 日に「改正防災・減災、国土強靱化基本法」が成立し、2023 年 7 月 28 日には「新たな国土強靱化基本計画」を閣議決定。防災インフラの整備、ライフラインの強靱化、デジタル等新技術の活用による国土強靱化施策の高度化、官民連携強化、地域における防災力の一層の強化、の 5 つの基本方針が示されたところです。

令和元年 9 月と 10 月に発生した台風 15 号 19 号では、千葉県内の南部を中心に甚大な被害が発生し、松戸市においても浸水被害が各地で発生してしまいました。

また今年の元日に発生した能登半島地震や、最近頻発している千葉県東方沖を震源地とする群発地震の発生など、地震に対する備えも重要となっています。

これまで松戸市においても災害対策を進めてきていただいております、防災備蓄倉庫の整備や、災害時に避難所となる学校へ井戸水を汲み上げて流せる「簡易水洗式仮設トイレ」いわゆるマンホールトイレの整備などを着実に進めてきていただいたところです。

令和 6 年度はさらに先ほど述べたように避難所となる学校体育館への空調機設置や夜間照明の設置、防災意識普及啓発のために VR ゴーグルを活用した災害模擬体験、アンダーパスでの水没防止策としてのエア遮断機の設置など、防災のための施策も進めていただいております。これらについて大いに評価するものです。

以上、大きく4点について申し上げてきましたが、私たち公明党が掲げている施策や、国が進めようとしている施策を、松戸市ではいち早く取り入れ、着実に進めてきており評価しております。
令和6年度においてもさらに推進していくことが示され、これに必要な予算が計上されている「令和6年度一般会計予算案」に賛成するものです。

それでは、個別事業についていくつか述べさせていただきます。

児童虐待等早期発見・対応事業、家庭児童相談関係業務においては、10代もしくはそれ未満の子供をどのように支援していくのか確認したところ、ヤングケアラー当事者からの相談を受けたヤングケアラーコーディネーターが、「寄り添いながら関係性の構築を図り、福祉サービスの円滑な導入につなげていく」旨が示されました。
一人でも多くの子供に寄り添っていただき、着実に前進させていただきたいと期待するものです。

小学校施設維持管理事業、長寿命化工事設計委託料については、いわゆる、全面リニューアル工事を計画していることがわかりました。
市内の小中学校は、東松戸小学校を除いて、昭和の高度経済成長時代に建設されたことから、今回の工事がリニューアルの先駆けであり、今後のモデルケースとなることは間違いありません。
新しい時代への第一歩として期待しております。

小中学校施設整備事業、体育館空調設備設置工事設計委託では、市の負担が軽くなる、国の「緊急 防災・減災事業債」を活用して行うことに期待しております。ご承知の通り、学校体育館は災害時の避難所となることから、この事業は着実に推進していただきたいと申し上げます。

学校体育施設開放事業、夜間照明設置工事設計委託料に関しては、市民の生活スタイルが変化する中、スポーツを行える機会を拡大・拡充する観点で、何年も前より我が会派から夜間照明設備の設置について訴え続けたところ、まず松戸運動公園陸上競技場に試行的に設置されたと認識しています。これが好評だったことから、今回の学校での設置に至ったと思っています。
ご承知の通り災害時に学校は避難所となり、夜間の照明は必要不可欠です。期待しております。

小中学校給食管理運営事業、学校給食関係業務については、先ほど述べたように第2子半額、第3子以降無料、とのことが示されました。学校給食の無償化に向けて、大きな1歩を踏み出したと期待しております。

重層的支援体制整備事業については、事業範囲が広範となり各課にまたがる事業などを、どのように進めていくのか確認させていただきました。ご答弁では、国よりも先行して構築した体制を活用しつつ、交付金の対象となるようご努力いただいていることが示されました。よろしく願いいたします。

松戸駅周辺地域活性化事業、松戸駅周辺施設等整備業務では、JR東日本の松戸駅改良工事にあわせ西口デッキでの穴埋め工事、東口では既存支障物の撤去などを行うことが示されました。また今後の計画として西口デッキの柏寄りにエスカレーターが設置されること、既存のエレベーター、エスカレーターまでの駅との接続部分に上屋工事が行われ、雨が降っていても濡れずに行けるようになる様です。松戸駅周辺の利便性向上のために、着実に進めていただいていると理解しています。期待しております。

またJR東日本は毎月 15 日にホームページで、松戸駅の各駅停車線 4・5・6 番線で、2024 年 4 月 26 日よりホームドアの使用を開始すると発表しています。多くの皆様からご要望のあったホームドアの設置により、安全性が大きく向上することとなります。

今後は松戸駅の快速線や、武蔵野線の各駅でのホームドア設置が待たれるところです。松戸市でも補助金を出していますので、一日も早く設置するよう要請し続けてください。

新拠点ゾーンまちづくり用地取得業務に関して、改めて新年度予算に計上され、用地取得に向けての市の考えが示されました。新拠点ゾーン整備に向けての第一歩です。市役所用地として取得し、松戸中央公園や北側エリアとの一体的な整備を期待しております。

防災組織強化事業、防災意識普及啓発業務については、AR・VRゴーグルを利用し、リアルな映像と音で、地震・水害・火災を疑似体験することができるとの事でした。

町会・自治会では防災意識が高まっており、これらを訓練時の貸し出しをしていくとのことで、その効果に期待しております。また合わせて防災資器材の購入費補助額を増額することもご検討いただけないでしょうか。よろしく願いいたします。

以上、代表的な個別事業について述べましたが、これ以外にも大事な事業、推進していただきたい事業が多く含まれている、この「議案第 64 号 令和 6 年度一般会計予算」について賛成させていただきます。

次に、「議案第 74 号 令和 6 年度松戸市病院事業会計予算」について申し上げます。

令和 6 年度より 1 病院体制となり、今後の経営方針、財政状況、医師の働き方改革などについて、お聞きしました。

今後は小児病棟の増床、NICU の増床など小児、周産期医療の拡充などに力を入れるとともに、600 床の開設に向けて取り組みを始めることを評価いたします。さらなる経営改善を期待しております。また、医師の働き方改革については、まだまだ難しい一面があるようです。その中で提供する医療の質を保つためにご努力されていることに感謝申し上げます。

コロナウイルスによる感染症対策については、関係するすべての皆様のご努力により乗り切ることができました。感謝申し上げます。中でもこの総合医療センターがあったからこそ、と断言しても過言ではないでしょう。

総合医療センターは市民の命を守る最後の砦です。これからも更なる発展を期待しております。

以上、「議案第 74 号 令和 6 年度松戸市病院事業会計予算」に賛成いたします。

このほか「議案第 65 号から第 72 号までの特別会計」「議案第 73 号令和 6 年度水道事業会計」「議案第 75 号令和 6 年度下水道会計」につきましても賛成といたします。

予算審査にあたりましては、執行部の皆様の丁寧なご説明をいただき、本当にありがとうございました。

以上で、公明党を代表しての討論を終わります。

ご清聴、ありがとうございました。